



がんばれ高田 負けるな高田
できる できる できる!

【校訓】

自主・協力・創造

文責 校長 大串 久隆

長与の子の心を見つめる教育週間、充実した1週間でした。

道徳の公開授業では、多くの保護者の皆様に参観いただき、ありがとうございました。生徒たちも、自分や他の人の命の大切さについて、改めて考える機会となりました。また、3年生の弁論大会では、「身近なところから世界へ」という演題で三浦さんが、「幸せを世界に」という演題で竹内さんが弁論を行いました。二人とも、広い視点に立ち、主張内容がとてもよく整理されており、聞く人たちにしっかりとしたメッセージが伝わる内容でした。そして、竹内さんが最優秀賞、三浦さんが努力賞をいただきました。



6月の校門掲示板

平和な社会、平和な世界をめざして

高田中学校の平和学習では、①原爆や戦争の悲惨さを再確認し、平和を守り抜く心をもつこと、②受け継がれてきた命の大切さを自覚し、自他の生命を尊重すること、③身近な集団の平和から成し遂げ、行動していく意欲を持つこと、の三つの目的を持って学習をしています。

1年生は、ナガサキ・ヒロシマの二重被爆者、山口 彊(つとむ)さんの孫である原田小鈴さんに講話をしていただき、2年生は「佐世保空襲を語り継ぐ会」代表の木原秀夫さんに、講話をしていただきました。原田さん、木原さんのお二方に共通していたのが、直接の経験者ではない方々が戦争の悲惨さや平和の大切さを必死に伝えているということでした。1・2年生とも、自分たちにできることは何かと考えるうえで、様々なことを学び、考え、そして、自分たちなりの意思を発信していくことが大切なのだと、感じていたようです。



7月の校門掲示板

3年生は、沖縄戦の状況やその時の人々の生活、その時の人々の思い、について学習しました。戦争状態の中で、軍とともに運命をゆだねなければならなかった沖縄の人々の苦悩や家族を奪われた子供たちの気持ちを推し量る生徒たちの姿は、「戦争は絶対にあってはいけない」という強い気持ちにつながったと感じました。

これらの学習を通して、8月9日の平和集会で、さらに、平和への思いを高めていきたいと思えます。

高献活動・・・1・2年生の連携

7月に入って、1年生は梅の土用干し、そして、紫蘇漬けを行いました。この紫蘇は、今年、2年生が畑を耕し、植えたものです。つまり、今年の梅干しは、高田中校庭の梅と、高田中校庭の紫蘇で作ったものになります。14日の朝に2年生が収穫した紫蘇は、約16kgありました。収穫の際にも紫蘇の香りがして、きっと、とても風味のいい梅干しになると思えました。

14日の5・6校時には、1年生が紫蘇漬けを行いました。紫蘇の葉を摘み集め、それに塩をかけて、しっかり揉むと、紫色の汁が出て、とっても強い香りがしました。

1・2年生の連携による100%高田オリジナルの高田梅、出来上がりが楽しみです。



2年生
除草と植え付け(5月末)



収穫・洗浄(7月14日)



1年生
紫蘇の葉を摘み取る→塩揉みをする(7月14日)



読書の習慣化と本に親しむ活動

今年度は、4月に図書室での朝読書を実施するとともに、週2回の朝読書を継続的に実施しています。また、図書部と図書校務員の働きかけで、読書の習慣化を高める取組が行われています。今回は、そのいくつかを紹介いたします。

① 平和への意識を高める本の紹介

前述のように、本校では平和学習を行っています。その行事に合わせて、平和に関わる書籍を図書室前に展示スペースをつくって、書籍紹介をしています。

生徒による書評は、内容に加えて、読者の感想がとてよく伝わるものであり、本を手にするきっかけ作りに大いに役立っています。



② クラス別、個人別読書量表彰

右は、クラス別読書数平均表彰と個人別読書数の表彰者を紹介したポスターです。

クラスでは、1位が1-2 (4.61冊) 2位が2-2 (2.2冊)

個人別では、ベスト3がすべて1-2の生徒でした。

1位速水廉さん (49冊)、2位月川滴さん (13冊)、同じく2位韓富沢さん (13冊) でした。

夏休みも、沢山の本を読んでほしいです。

「I'm reading! BOOKS!!」イベント結果発表ポスター

〈クラス別〉			〈個人別〉		
第1位	1-2	4.61冊	第1位	速水 廉さん(1-2)	49冊
第2位	2-2	2.2冊	第2位	月川 滴さん(1-2)	13冊
第3位	1-1	2.1冊	第2位	韓 富沢さん(1-2)	13冊
第4位	3-2	2.02冊	第4位	永田 颯晴さん(1-1)	10冊
第5位	2-1	1.68冊	第5位	高崎 夏中風さん(2-2)	9冊
第6位	3-1	1.5冊			

③ 長与町図書館イベントへの参加

長与町図書館のイベント「おしえてみっくん」への応募募集を行ったところ、沢山の生徒が応募をし、韓さん(1-1)、草野さん(3-1)、濱崎さん(3-2)の3名が館長賞を受賞しました。

以上のように、図書部の積極的な活動に、生徒たちが意欲的に参加することで、読書を楽しむ雰囲気ができています。今後も、読書に親しんでほしいです。



図書館長からの表彰



「おしえてみっくん」応募全作品

意義ある夏にするために、高い意識を持って。

今年度、タブレット活用3年目となり、本校では「自己教育力の向上」をテーマに学習指導を行っています。例えば、生徒用タブレット端末に自主学习用データが入っており、それを各自が学習して、朝学習での小テストを受ける。というのもその一つです。取組状況は、学年差が出て来ています。3年生の取組は素晴らしく、事前学習を5回以上行ってテストに臨む生徒もおり、テストの合格率は、ほぼ100%クリアしていました。1年生の学習習慣の定着が課題と感じています。

さて、40日間の夏休みが始まります。この夏のテーマは、「自分を自分で鍛える！」です。5教科の宿題をAIドリルで出題し、取組後に自己採点ができるようにします。また、自分の課題克服のための問題演習もAIドリルで実施可能です。そのほか、自由研究や作品制作、コツコツと知識や技能を身に付ける学習もあります。それぞれの学習の意義を理解し、計画的に取り組んで、「自分を自分で鍛える夏」にしてほしいと思っています。

生徒たちの計画的な学習と熱中症対策のために、高田中学校の平日の部活動は、火・木・金の午前中を基本としています。(吹奏楽部は、まだ休日を地域移行していませんので、独自の練習計画です。)

この夏休みの様々な学びや経験が、生徒の主体性や創造性の向上につながることを心より願っています。

